

人数と作物の量が程よく、バラの苗2鉢や若者の養蜂家のはちみつなどを含む作品が完売。何より面白かったのが、愛好家とお客さんの対話であります。作物のうんちくは当然のことながら、「お天気だったらコーヒー出す?」「アッじゃケーキつくろうか」「いいねいいね」とこれは勿論女性陣の会話です。話はどんどんまとまります。第3回目の振り返り部会でもこの交流頒布会の雑談を形にしていこうという会合です。2回目は8月22日土9時開始。お天気であることをねがいつつ皆様お楽しみに。

と、ここでお話は終わりです。ちょっと蛇足。「面白そうなことはどんどんやってみましょう☆」住民主体の活動には(現在もそうですが)、勿論制約もあり、ふまえないといけないことはいっぱいあるのです。でも一番大事なことは「だれかからやらされるのではなく、やりた

い!を形にすること」なのです。この指とまれ!でとまった仲間を考える、試行錯誤を楽しむ。主体で動くから文句もでない。常に新しいことが生み出される。住民協はおもしろいです☆☆☆☆



訃報

当会監事、仲西恒雄様が逝去されました。享年 80歳
謹んでお悔やみ申し上げます。 久木小学校区住民自治協議会

編集後記

新型コロナウイルス感染の脅威が叫ばれる様になって、既に半年以上になった。政府による緊急事態宣言の発令と自粛期間、第一波の鎮静化を経て自粛期間の解除となり、経済活動も文化、社会活動も再開することになった。しかし最近ではウイルス感染者が増加基調にあり、日々メディアはウイルス関連情報に溢れ、我々市民も毎日の生活の中でコロナ感染リスクを回避しつつ如何に有益な活動をするかを問われている。

「With コロナ」、新しい生活基準「ニューノーマルの構築」とキャッチフレーズは鮮明だが、具体的な対応は極めて難しい。本来、人の活動は人の対面活動が基本であるので、感染防止のため細心の注意を払いつつ活動しなければならない。住民協も種々模索をしながら、活動しなければならない。真正面からコロナウイルスと地域でどう向き合うのかチャレンジする項目がまた増えた。

事務局長 石井達郎

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第40号 (準備会から通算第61号)

発行日 令和2年8月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・・・各部会は新型コロナウイルスの

感染リスクとの共存を図りつつ

事業を展開しています。・・・

- ◆ 新拠点部会では3密を避けつつ地域活動の活性化を図る企画/家庭菜園生産者のニーズの発掘を図り家庭菜園愛好者のコミュニティの拡大を目指して、7月18日(土)の午前中に初めての試みとして、「家庭菜園愛好者交流頒布会」を久木会館前で開催しました。当日は朝からの大雨警報にも係らず、午前9時から予定通り行われ山の根、久木の家庭菜園愛好者が、トマト、きゅうり、ナス、ゴーヤ等の夏野菜、ジャガイモ、バラの苗等が出品され、第一陣は朝9時から来られたお客様も数多く10時頃には完売、第二陣は10時頃出品された野菜も10時30分ごろには完売。密を避けた屋外の事業展開としての試みは大きな手応えを感じたものとなりました。次回は8月22日(土)久木会館前で、ケーキ等夫々の手作りを加えたものとして、徐々に久木朝市的な新しい賑わいを企画しています。
- ◆ 子ども部会では「みんなの食堂」を屋外、人数限定で会館前で「野菜頒布会」に合わせて実施することを検討中です。
- ◆ ふれあい部会では夏休み期間中、子ども達と雑巾手縫いのワークショップを行います。
- ◆ 減災部会では、行政の地区防災拠点の設置構想に併せて頻発する災害リスク等を勘案して、また、コロナウイルス対応を加えて、各地域の自主防災組織、避難所、行政等関係機関と連携した久木小学校区の地域包括防災・減災体制築き上げることを目指し部会の重要プロジェクトとして活動を行います。
- ◆ 久木会館はコロナウイルス感染防止に留意し、地域活動の場として、地域の拠点となる会館運営を行います。

事務局長 石井達郎

令和2年7月度役員会

令和2年7月4日(土) 13:30~15:40 久木会館
で17名(うち役員13名)が参加して開催さ

(1) 事務局からの連絡

① 2020年度総会について

コロナウイルスの影響で、2020年度総会は書面審議となり、「住民協ひろば5月号」の掲載記事の通り、1~6の決議議案は承認された件が報告された。

② 2020年5月、6月役員会/コロナウイルス対応のため休会について

6月は各部会/個別グループで会合を開催

し、コロナウイルス対応下での活動の在り方について議論を進めた。

③ 2020年度の在宅総会決議事項について桐ヶ谷市長報告について

6月12日に標記の件について、廣川地域リーダー、市民協働課同席のもと桐ヶ谷市長に報告、その後地域の課題等意見交換を行い、当住民協の理解周知を図った。

(2) 審議事項等

① 各部会及び事業代表から、コロナウイルス対応を含めた2020年度事業計画について

◇ 久木会館：

◆6月1日から再開した、運営については市通達を遵守し、6月17日の会館当番、関係者に周知した。

◆ルームCのエアコンが故障しており、本来市が修理すべきところだが、キッチン・事務室なども含めた大型設備となっており、市は予算の目途が立たず、盛夏に向けて、会館運営上、熱中症対策としてエアコンを整備する必要があり、会館の会計から支出して、小型のエアコンを装備する旨の提案があり、審議の結果承認された。

◆会館運営に関して、非接触式体温計、予備マスクを準備する必要はないのかとの提案があり、準備の賛否については会館当番会議にて検討することになった。尚、消毒液については、みんなの食堂関連で、アルコール消毒液20L 寄付があった旨報告があった。

◇ こども部会：

みんなの食堂はいまのところ開催の目途が立たない。3月に実施した歴史探訪ハイキングのような、外での活動はどうかとの意見もある

が、コロナ下での具体的な地域交流事業に対しての行政の指針がばないと活動が難しいとの事。審議の結果、具体的な案を提案した上で、役員会で審議し、市民協働課にも確認する事とする。

◇ 減災部会：

◆秋口から、地域減災マップをもとに各地域毎に、防災に関する施設・場所などを確認しながら、まち歩きをする「防災散歩」を企画する予定であるとの報告あり。

◆神奈川県看護協会による減災講演会については当面コロナ禍の状況では医療関係者が超多忙であることから、依頼できる状況でなく、代替の後援会を模索するとの報告あり。

◆校区に行政の地域防災拠点が設置されることが決まり、拠点として役割、避難所の在り方などについて市と協議してゆくとの報告があったが、住民協、自治会・町内会(自主防災組織)、避難所準備委員会、行政との役割分担の明確化と、間に立って取り纏めて行く活動を減災部会の重要プロジェクトとする様要望が出された。

◆昨年度のまち歩き気づいた危険箇所については、解消に向け、市と協議してゆくとの報

告あり。

◇ 新拠点部会：

久木会館を媒体とした地域住民交流を主眼として取り組み、現在以下の2件について実施を検討している。

◆家庭菜園で収穫された野菜の販売会についての説明があり、久木地区での協力者がもつていないと、成り立たないのではないかととの疑義もあったが、審議の結果、7月18日(土)実施することに決定した。

◆レンタル、電動自転車/ダイチャリの駐輪施設を久木会館に設置し、地域の移動手段の利便性を高めることで、久木会館エリアの付加価値を上げることを目指す。本件に関してダイチャリの委託業者が9日にスペースの実査

のため久木会館来訪予定。

② その他

◆2020年度「住民協ひろば特別号」について編集責任者は井上さん、取り纏めにあたって不明な点は、昨年度までの責任者である東さんに確認をする。特集記事について座談会を入れることが望ましい、テーマ、メンバーなどは責任者に一任。広告掲載についても要検討。

(尚、その後開催された連絡会、及び新拠点部会で特別号の特集テーマは「地域の防災・減災」に決定した。)

◆地域支え合い学習会で「Zoomの使い方」の講習会の告知があった。

《新拠点部会 家庭菜園愛好者との交流頒布会7/18土のお話》

新拠点部会委員 龍村敦子

去る7月18日(土) 降りしきる雨の日の朝9時、久木会館玄関前は「不揃いの夏野菜たち」の周りに密にならない程度の人だかりができていました。そのお話を始めます。

「久木地域活動センター」通称「久木会館」は単なる貸館ではない ☆久木小学校区住民の交流の場であり、いずれはこの地域の「様々な」「拠点」となっていくのである ☆☆そのためにはまずこの会館の存在を広く知らしめ、世代間を超えて住民同士が親しく交わり、多様にして新たな力を生み出すことができるきっかけを作ろう ☆☆☆それこそ「新拠点部会」の目指すところなり ☆☆☆ ←と、ちょっと大げさに書きましたが、真意は間違っていないと思います。そのためになにを企画するか。1回目の会合はコロナ流行以前。「やはり祭り系」でしょ♪♪のノリから一変して会館閉鎖。そして時は6月、2回目の部会です。様々な制約にひっかからない企画。誰言うともなく部会

一致で決まったのが、久木山の根の家庭菜園愛好家の作物の販売。場所は会館玄関外。と話しはまとまり。パタパタパタと家庭菜園愛好者への諸連絡、ポスター作製、近隣住民への口コミ大作戦の結果、「去る7月18日」の日を迎えたわけです。出品者2グループ+個人7人。結果をお話しましょう。大成功でした ☆☆ただし「注」がつきます。「注」は日照不足、多雨のため菜園で育つはずだった野菜類の収穫が見込めず、2種類出るはずが1種類に変更だったり、作物はゼロだったのかわりに梅干しだったりという番狂わせがありながら、来場者の

